

AED協力事業所の登録制度を始めます

心肺蘇生をするために必要となるAED。市民センターや学校などの公共施設をはじめ、商業施設などでも普及が進んでいます。名張消防署では、AEDを設置している事業所に協力事業所として登録いただくことで、いざというときにAEDを有効活用し、救命率の向上を目指します。

名張消防署 救急室 ☎63・0997



名張消防署 救急室 救急救命士 藤森 博之

一刻一秒を争う救命処置

急に誰かが倒れたとき、まずは救急車を呼ぶことになりませんが、救急車が現場に到着するまで名張市の場合、平均で7分半程掛かります。

心肺停止の人を救命するためには、胸骨圧迫などの心肺蘇生法やAEDを使った電気ショックといった一刻も早い救命処置が必要です。

AEDは、音声ガイダンスで操作方法を教えてください、誰でも使うことができますが、適切に使用していただくために、名張消防署では、定期的に市民が参加できる救命講習を実施しています。AEDの操作方法や心肺蘇生法を学ぶことができます。次号の広報

なばりに講習の案内を掲載する予定ですのでぜひ、ご参加ください。

救命率向上に向けて

市では、AEDを市内の公共施設に設置している他、市内の全てのコンビニエンスストアにご協力いただいて24時間いつでもAEDが使えるようにしています。

AEDが有効に活用されるためには、市民の皆さんが日頃からAEDの設置場所を知り得る環境が必要になります。今回、市内の設置場所をまとめたAEDマップを作成することにしました。作成にあたり、設置箇所として登録いただける事業所を募集します。

完成したAEDマップは、市ホームページなどで公開する予定です。市内に設置されているAEDを更に有効活用して、救命率向上につなげていくため、登録のご協力をお願いします。



AED協力事業所を募集します

登録要件 緊急時にAEDを貸し出していただけることや、適正に管理していただいていることなど一定の要件があります。

申込 申請書は、問い合わせ先で配布のほか、市ホームページでダウンロードできます。申請方法など詳しくは問い合わせ先へ

名張市AED協力事業所登録標章



協力事業所にお渡しする登録標章



これから暑くなる季節だからこそご用心 知っていますか？身近な危険物について

■直射日光の当たらない場所で適正な保管を

ガソリン、軽油、灯油は消防法で規制される危険物です。小さな発火源でも、火災が起こりやすいです。消防法令に適合した容器に入れ、直射日光の当たらない場所で温度の低い場所で保管しましょう。

■ガソリンや灯油だけではなく、身近にある危険物

ガソリンだけでなく、マニキュア、ヘアスプレー缶など、身の回りにあるもののなかにも、危険物に該当するものがあります。引火しやすいものなので、取り扱いには注意してください。



スプレー缶 マニキュア

消防本部 予防室 ☎63-1412



子育て講座「子どもに起きやすい事故に対する救急対応について」

子どもがけがをしたとき、のどをつまらせたときなどの救急対応について学ぶ講座です。

日時 7月23日(月) 午前10時30分～正午

場所 こども支援センターかがやき(桔梗が丘西3)

対象 市内在住の子育て中の保護者

定員 15人 ※先着順

講師 富内 直美さん(日本赤十字社三重県支部)

申込 6月19日(火)から7月14日(土)までに、電話で問い合わせ先へ ※託児が必要な場合は、同時にお申し込みください(先着20人) 日・月曜日休館

☎こども支援センターかがやき ☎67-0250



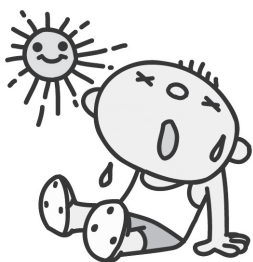
熱中症には気をつけましょう！

6月は季節の変わり目です。暑さに慣れていないこの時期、熱中症対策を今からチェック。熱中症は適切な予防をすれば防ぐことができます。正しい知識を持ち、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

熱中症が起こりやすい環境

- ▼気温・湿度が高いとき
- ▼風がないとき
- ▼急に暑くなったとき
- ▼日差しや照り返しが強いつき

※屋外だけでなく、就寝中など室内で熱中症を発症することがあります。



予防法：水分補給と暑さを避けること

- 水分をよく摂る(屋内でも水分をこまめにとりましょう)。
- 決して無理な節電をせず、適度に扇風機やエアコンを使用する。
- 高齢者は汗をかく能力が低下し、のどの渇きを感じにくいので、こまめに水分の補給を！
- 乳幼児は、体温調節が未発達です。短時間でも車内などに放置しない。

応急処置：涼しい場所へ避難、体を冷やす、水分・塩分補給

- 風通しのよい日陰や、エアコンの効いた室内へ避難させる。
- 衣服を脱がせ、首や脇の下、股関節を氷などで冷やす。
- 意識がはっきりしているときは冷たい水を与える。
- 自力で水が飲めない、意識がない場合は、救急車を呼ぶ。

☎健康・子育て支援室 ☎63-6970 ☎救急室 ☎63-0997